

環境レポート2016

2015年4月～2016年3月（平成27年度活動）



コンテンツ

- 当社の環境活動の特徴
- 体制図
- 環境中期目標
- 温暖化対策
- 環境パフォーマンス
- 平成27年度の環境目標・実績
- 平成27年度の環境活動

 日本無線硝子株式会社

□ 当社の環境活動の特徴

代表取締役社長 依田 正樹

お客様の欲する製品を、適正な価格、適切な納期でご提供することが、結果的に環境負荷の低減につながる、これが製造業である日本無線硝子株式会社の、環境経営の基本的な考え方です。

硬質ガラス製品を製造している当社は、すべての環境への取り組みが、エネルギー使用の効率化及びガラス原料（地球資源）の有効利用になるように、年度の環境目標を設定しています。

これらの指標を埼玉県の施策「目標設定型排出量取引制度」に求め、二酸化炭素の排出量を基準年度比15%削減することを目標とし、社会の要請に応じています。

これは、「ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050」の取り組みの一環です。また、日清紡ホールディングス企業グループの一員として、環境への取り組みの共通化のひとつ、廃棄物のリサイクル率の改善に努めています。（以上、CSR活動の一環）

当社の事業の特徴は、ガラス職人の高度な技能から生まれる質の高い製品の成型、加工にあります。これらの製品は、電球用バルブやX線管などの医療機器、さらには宇宙を解き明かすカミオカンデの光電子増倍管まで、多岐にわたり社会に貢献しています。

これからも、限りあるエネルギーや資源をいかに有効に活用するか、職人技能と自動機械との共存を目指し、日夜努力して参ります。

ここに「環境レポート2016」をまとめました。私たちの環境への取り組みとその現状についてご一読いただき、ご意見をいただければ幸いです。

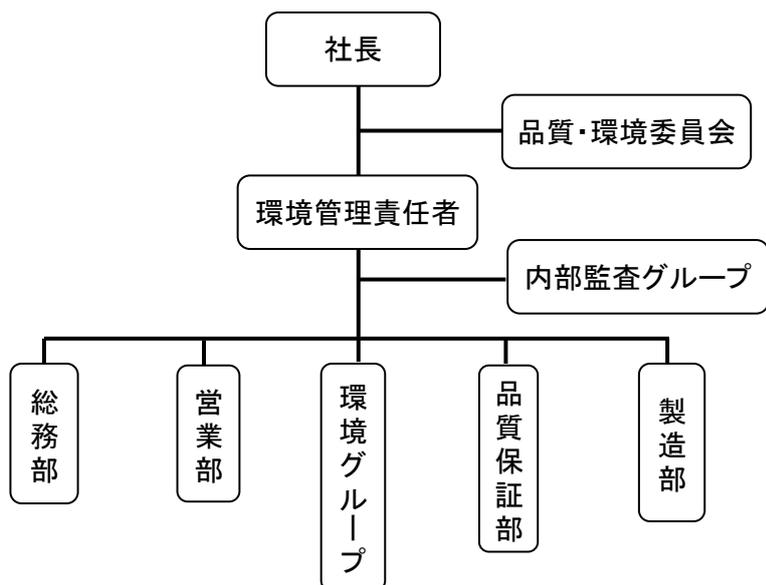
2016年7月

環境方針 基本理念

日本無線硝子は、ガラス製造を通じて資源やエネルギーの大切さを学び、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであると認識し、環境と調和した企業活動を行うことによって、健全で豊かな社会の実現に貢献します。

環境方針の詳細は、弊社のホームページをごらんください。（www.jrg.co.jp）

□ 環境マネジメント体制図



※環境関連法定管理者

当社は第2種エネルギー管理指定工場です。
エネルギー管理士、公害防止管理者、その他の法定管理者が選任され、活動しています。

□ 環境中期目標

1. 地球温暖化対策を強化し、環境にやさしい事業活動を目指す

平成27年度～31年度のCO₂排出量の平均値 基準値比15%削減
(県条例は13%削減)

基準値：5,542 t-CO₂* (平成17年度～19年度平均値)

※県の電気の換算係数変更が基準数値に反映されております。

※これは、埼玉県の日目標設定型排出量取引制度に対応したものです。

2. 環境負荷の低減

産業廃棄物のリサイクル率 96%以上

上乗せ目標		基準値	埼玉県条例：第2計画期間				
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	目標量	5,542	4,711	4,711	4,711	4,711	4,711
	削減率		15%	15%	15%	15%	15%
	実績		4,654 (16%減)				

□ 温暖化対策（中期計画）

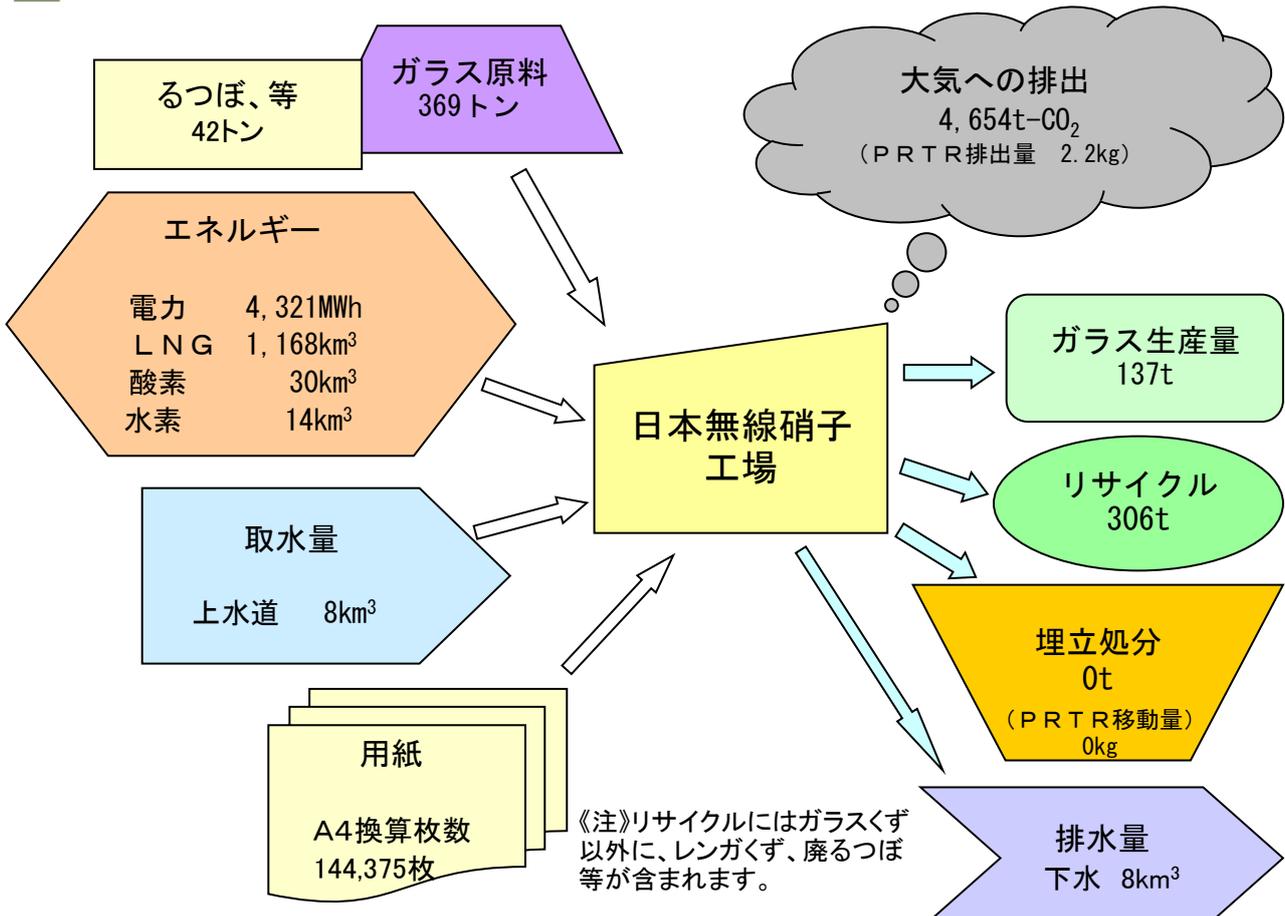
1. 電力使用量削減の取り組み

- 成型現場の作業用大型エアコンの更新
- 電気炉の運転方法の改善
- 成型作業の半自動化研究

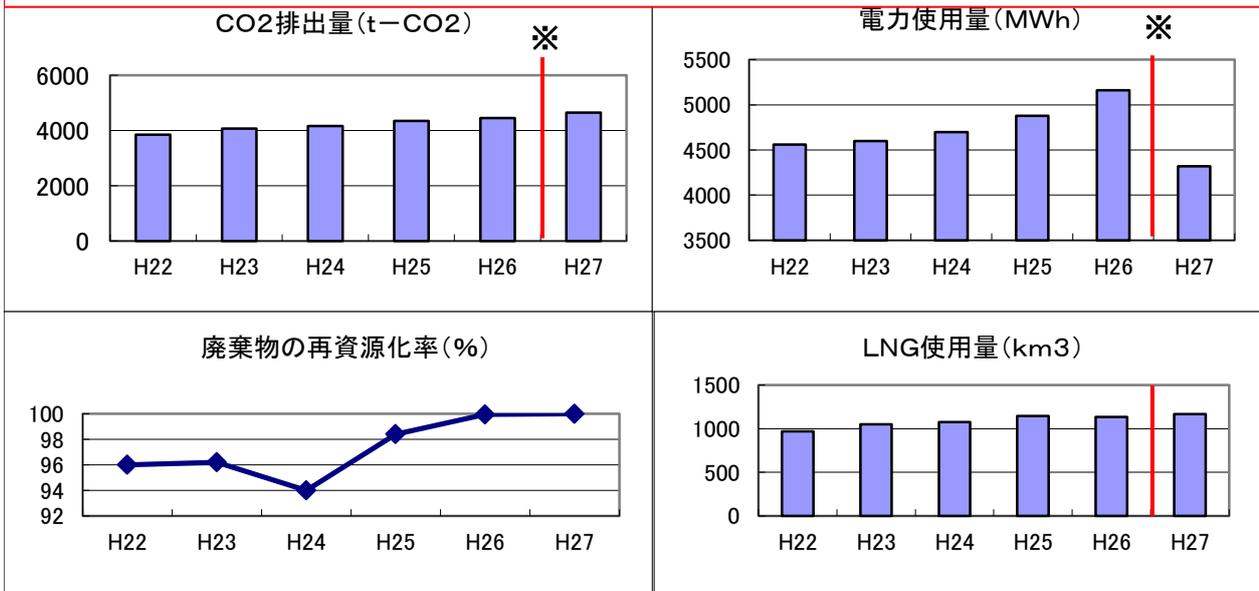
2. LNG使用量削減の取り組み

- ガラスカットの自動化研究
- 小型炉の運転手順見直し

環境パフォーマンスの現状



※H27年より、電力に対するCO2換算係数が0.386→0.495に変更された為
H27の電力使用量は減少したが、CO2量は変化量が少い結果であった



下水排水水質分析結果

定期的に採水し分析していますが、BODや鉛、砒素等の値は、規制値を大きく下回っています。

	法規制値	測定値
BOD (mg/l)	600	19.68
SS (mg/l)	600	17
鉛化合物 (mg/l)	0.1	0.01未満
砒素化合物 (mg/l)	0.1	0.01未満

□ 平成27年度の環境目標とその実績

1. 地球温暖化対策の強化

目標：CO₂排出量を、平成17～19年度平均値を基準とし、15%削減
(県条例は13%削減)

実績：基準値 5,542 t に対し、平成27年度 4,654 t 16.0%削減
目標を達成しました。

2. 環境負荷の低減（環境保全の継続的取り組み）

目標：産業廃棄物のリサイクル率 96%以上

実績：99.95% 目標を達成しました。細長い管について従来の処分方法を変更（業者変更）し、分別処理を行った事で改善しましたが費用、処理の面で更に改善する余地があり、今後もこの棒状ガラス管処理に工夫を行い、目標を上回る努力をします。

定期環境測定項目として、大気汚染防止法および下水道法による規制物質を監視していますが、いずれの項目も規制値を大幅に下回っております。

□ 平成27年度の環境活動

1. 作業及び工程見直しによるエネルギー効率向上を目指す

当社のCO₂排出量の99%は、電力とLNGが占めており、それぞれ、ほぼ半々の割合です。従って電気炉と坩堝のエネルギー管理が重要と考え、管理手法の研究に継続して取り組んでおります。

2. 環境整備

環境法に基づいた対応の為、設備の改善・点検強化等の施策を図り、法順守を強化してきました。また、従来お金を支払い、処理をしていた廃棄物を見直し、一部は有価買い取りにし、費用も抑える努力を行っております。

3. 生物多様性への対応

- 平成27年3月からNPO主催の近隣の新河岸川清掃美化活動に参加しております。新河岸川付近には日本タンポポが生息しています。（皆さんの見る殆どが外来種です。）



4. 社会貢献

- エコキャップ運動に継続して取り組んでおります。平成27年度は、約14,500個回収し、ポリオワクチン36名分相当となりました。



日本無線硝子株式会社
〒356-0011
埼玉県ふじみ野市福岡
2-1-8

発行：環境グループ